

2023年(令和5年)

8月16日号 No.302

年5回(5・8・10・12・2月)発行

発行 市川市消防局

〒272-0021市川市八幡1丁目8番1号

TEL047-333-2111(代)FAX047-333-8181

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右の二次元コードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

こちら 119

▼二次元コード



消防テレホンガイド

☎ (333)3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

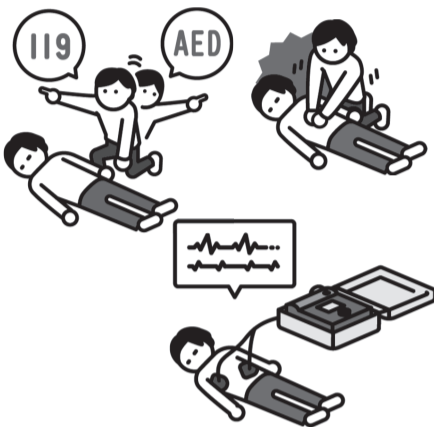
火災・救急件数(7月末日 現在)

◆火災 45件【前年比 +1件】

◆救急 10,348件【前年比 +1,014件】

9月9日は 救急の日

救急のイベントや講習会に
参加してみませんか



4年ぶりに救急広場を開催します

9月9日「救急の日」を含む1週間(今年は、9月3日から9日まで)は、救急医療週間です。救急の日を前に、子どもから大人まで楽しく体験・学習できる「救急広場」を開催します。いざという時に役立つ心肺蘇生法やAEDを使用した救命処置を学ぶことができます。今年はチーバくと記念撮影ができるフォトスポットを設置します。ぜひ、家族そろって救急広場にご来場ください。

日時 9月3日(日)
午後1時～午後3時30分
場所 市川市鬼高1丁目1番1号
ニッケコルトンプラザ内
「タワーコート」

出張型救命講習が再開しました

対象者

指導員が訓練用資器材を持って、あなたの街や職場に伺います。友人や同僚と一緒に心肺蘇生法を学びましょう。



市内在住・在勤・在学の中学生以上の方



10人～18人の団体



応急手当web講習の修了者



9月の救命講習会

開催場所:消防局5階ホール、定員18名

講習の種類	目付	時間
普通救命講習Ⅲ (小児・乳児)	令和5年9月7日(木)	9:00～11:30
	令和5年9月21日(木)	13:30～16:00
普通救命講習Ⅰ (成人)	令和5年9月21日(木)	9:00～11:30
普通救命講習Ⅰe (成人) ※実技講習	令和5年9月26日(火)	9:00～10:30

申し込み方法:8月21日(月)9時から救急課へ電話にて申し込み順

※実技講習とは

事前に応急手当web講習を受講していただいた方を対象に行う講習で、通常の講習より受講時間を1時間短縮することができます。

救急車を正しく利用しましょう

救急車で搬送された方で、医師の診察により軽症と判断された割合は全救急搬送の約半分です。

市内の救急出動件数は増加しており、救急車が到着するまでの時間も年々遅くなっています。救える命を守るために、緊急性がない場合には交通機関を利用するようご協力をお願いします。

病院に行くか救急車を呼ぶか迷ったら

あんしんホットダイヤル
0120-241-596

全国版救急受診アプリQ助
総務省消防庁Q助案内サイト

子ども救急電話相談
#8000

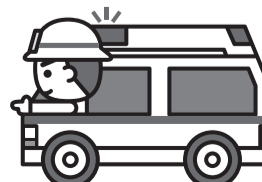
千葉県救急安心電話相談
#7009



市川市公式Webサイト
「救急車を呼ぶか迷ったら」

ためらわず救急車を呼んで欲しい症状

意識がない、けいれん、大やけど、大量の出血、物をのどにつまらせて呼吸が苦しいなど、大きな病気の可能性がある場合や緊急時にはすぐに救急車を呼んでください。



市川市

消防局 救急課

〒272-0021千葉県市川市八幡1丁目8番1

☎047-333-2111(代表)

(音声ガイダンス 2番)

第51回消防救助技術関東地区指導会

7月13日、27日に第51回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

市川市消防局からは、千葉県大会を勝ち抜いた救助隊員14名が、水上の部「複合検索」、「溺者救助」、「水中検索」の3種目、陸上の部「引揚救助」、「ロープブリッジ救出」の2種目に出場しました！

結果は、水上の部で「複合検索」と「水中検索」の2種目、陸上の部で「引揚救助」が上位入賞を果たし、8月25日に開催される第51回全国消防救助技術大会への出場を決めました！

全国消防救助技術大会は、全国の消防救助隊員が一堂に会し、目ざろ鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、高度な救助技術と強靱な体力・精神力を養うことを目的として毎年開催されています。

《水上の部》



《陸上の部》



水難事故にご注意ください!

夏季になり、川遊びや海水浴など水に触れる機会も増えていっていると思います。水遊びは、楽しい行事ではありますが、一つ間違えると取り返しのつかない事故につながります。

そのため、楽しく河川や海水浴場で遊ぶために、次のことに十分注意してください。

こどもの水難事故防止、保護者の方へお願い

- ・こどもだけの水遊びをさせない。
- ・水泳中や水遊び中、こどもから目を離さない。
- ・浮き輪を使っているからと安心しない。

事故を防止するために

- ・飲酒して海や河川に入ることは絶対にしない。
- ・天気が良くても、河川が増水し始めたら水の中に入らない。
- ・河川の水の色が茶色く濁って来たら、その場から離れる。
- ・河川の上流地域での集中豪雨などによる、急な増水に注意する。
- ・釣りをする時は、ライフジャケットを身につける



市川市消防局 水難救助隊

住宅用火災警報器の奏功事例

住宅用火災警報器を設置していたことにより、大事に至らなかった事例が多数報告されています。その一例を下の図でご紹介します。

1階の台所から出火

2階で就寝中の居住者が、階段の住警器の鳴動の覚知

119番通報し、避難



避難し 人命が守られる!



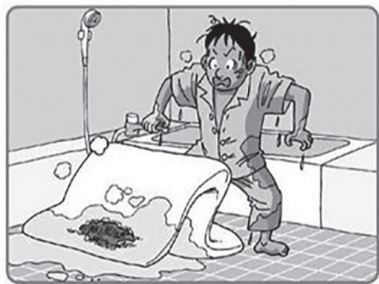
階段の上で感知 住警器が作動

居住者が寝たばこ

ふとんから発煙し、寝室の住警器が鳴動

風呂場へ持って行き、浴槽の水に浸し、大事に至らず

自ら気付いて消火!



寝室で感知 住警器が鳴動

出典:消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>)

大切な命を守るために、
一目でも早く住宅用火災警報器を設置しましょう。

問い合わせ先:市川市消防局予防課指導担当(TEL:047-333-2116)

災害発生時の心得

～むやみに行動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるほか、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。

【災害発生時には「むやみに移動を開始しない」】

- まずは自分の身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスにより、家族の安否や自宅の無事を確認しよう。
- 交通情報や被害情報などを入手しよう。

【日ごろから準備しておきたいこと】

- 事前に家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておこう。
- 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水、食料、マスク、除菌シートなどを用意しよう。
- 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておこう。
- 帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどの場所を確認しておこう。
(千葉県や九都県市ではコンビニやガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。)
- 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーを持ち歩こう。

災害時帰宅支援ステーションステッカー



コンビニエンスストア等

災害時徒歩帰宅者支援ステーション



千葉県石油商業組合に加盟する 県内のガソリンスタンド